

## ヒト由来のプロテインキナーゼCβIIアイソザイム、再組換え

Cat. No. NATE-0622

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されま  
す。フォルボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定  
されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基  
質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初の  
ファミリーのメンバーはCa<sup>2+</sup>およびホスホリピッドを必要とし、PKCα、βI、βII、およびγが  
含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですがCa<sup>2+</sup>非依存であり、  
PKCδ、ε、η、およびθが含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォルボー  
ルエステルによって活性化されず、PKCξ、μ、およびιが含まれます。

**別名** PRKCB; PKCB; PRKCB1; PRKCB2; プロテインキナーゼC、ベータ1; プロテインキナーゼC  
ベータ型; PKCベータ; EC 2.7.1.37

### 製品情報

<b>種</b>	人間
<b>由来</b>	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
<b>形態</b>	緩衝水性グリセロール溶液; 20 mM HEPES、pH 7.4の溶液; 2 mM EDTA、2 mM EGTA、 5 mM DTT、100 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および50%グリセロール。
<b>EC番号</b>	EC 2.7.1.37
<b>分子量</b>	計算された分子量 76.9 kDa; SDS-PAGE による分子量 80 kDa
<b>純度</b>	>95% (SDS-PAGE)
<b>代謝経路</b>	B細胞におけるNF-kappaBの活性化、特定の生物系; 適応免疫系、特定の生物系; アフリカトリ パノソーマ症、特定の生物系; アフリカトリパノソーマ症、保存された生物系; アルドステロ ン調節ナトリウム再吸収、特定の生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、保存された 生物系; アメーバ症、特定の生物系
<b>機能</b>	ATP結合; アンドロゲン受容体結合; クロマチン結合; ヒストン結合; ヒストンキナーゼ活性 (H3-T6特異的); リガンド依存性核受容体転写共活性化因子活性; 金属イオン結合; ヌクレオチ ド結合; タンパク質結合; プロテインキナーゼC活性; プロテインキナーゼC結合; 亜鉛イオン結 合
<b>単位定義</b>	1ユニットは、pH 7.4、30°Cで1分間にヒストンH3に1 nmolのリン酸を転送します。

### 保管・発送情報

**保存方法** -70°C